



もの・こころづくりプロジェクトを通して Part.1

11月25日(水)に行われたもの・こころづくりプロジェクトでは地元で活躍されている方々をお招きして、ワークショップ、講演会を行いました。

午前中はものづくりや運動、演習などを通して、普段できない体験をし、地域のことや伝統について、自分を活かすために大切なことに気付くことができました。

午後の講演会では地域を活性化するため、自分の人生を実りあるものにするためのヒントをもらうことができました。

今後は、昨年度調べた大曲地区のことや職場体験学習、今回の体験を通して考えたことを総合的な学習の時間でまとめていくことにしたいと思います。

今回のプロジェクトの感想の中にも貴重な気づきがたくさんありましたので、一部を紹介したいと思います。

ハンドメイド手芸 ～ウシ干支マスコット～

僕は細かい作業や小物作りなどが好きなので、すごくおもしろかったです。様々な色合いの組み合わせやどのような工夫を加えるのかなど、考えるのもすごくおもしろかったです。プライベートでも僕の好きなゲームやアニメのキャラクターを作りたいと思いました。(秀陽)

作りながらたくさんの人とお話するのも楽しかったけれど、一番、頭に残っているのは先生の優しい対応の仕方です。すごく優しく、分からないことや気を付けた方がよいことなど、一から十まで教えてくれました。私もそんな人になりたいと思いました。(愛海)

私は不器用で、物を作るというのは少し苦手で、あまり好きではなかったのですが、今回、この体験を通して「あっ、物作りってうまくいくとこんなに楽しいんだ!!」と思いました。今後も物作りにたくさん挑戦していきたいです。(真璃愛)



手作り組子（木工） ～スマホスタンド編～

思ったより難しいなと思いました。ですが、友達と協力したり、先生の分かりやすい説明があったりしたおかげで、きれいに作品を作ることができました。普段できないことに集中して取り組むということは楽しかったです。(瑠乃)

私は今日、初めて組子細工を体験しました。一つ一つのパーツが細かく、繊細で、丁寧に扱うことを意識して取り組みました。難しかったし、とても集中力の必要な作業で、これを作っている方はすごいなと改めて思いました。(広愛)

一つ一つパーツを当てはめていく感触に少しずつ達成感を感じた。丈夫で温もりのある、きれいな仕上がりにできてよかったと思う。機会があったら、ぜひ、また体験してみたい。(基)

